

お お な み
81号 こ な み

ウェーブ通信 (no.81)

2017年 07月号

NPO 法人
コミュニティ・
ネットワーク・ウェーブ



画=田岡百合子さん「夏の思い出」

総会のご報告

特定非営利活動法人コミュニティ・ネットワーク・ウェブの平成29年度の通常総会が、6月25日(日)にウェブ分室にて開催されました。正会員22名中、出席者10名、委任状11名で、定足数(正会員の3分の1以上)を満たし、総会は成立しました。

佐光理事長の挨拶のあと、馬上睦子氏が議長に選ばれ、議事が進められました。以下の議題のうち1～4の議題について担当から説明があり、平成28年度の収支決算については田高監事から活動及び会計が適切に行われていることの報告があり、質疑応答のあと、すべての議題が承認されました。

- [議題]
1. 平成28年度 事業報告
 2. // 収支決算及び監査報告
 3. 平成29年度 事業計画(案)
 4. // 活動予算(案)
 5. 役員の改選

ウェブの規定では役員は1年の任期となっているため、全員が任期満了となり、再選されました。平成29年度もこれまでの事業を引き継ぎ、さらに充実・発展できるように努力したいと思っております。

- [役員]
- | | | | |
|------|----|----|------|
| 理事長 | 佐光 | 正子 | (再任) |
| 副理事長 | 一宮 | 蓉子 | (再任) |
| 理事 | 井上 | 文 | (再任) |
| 理事 | 新澤 | 克憲 | (再任) |
| 理事 | 馬上 | 睦子 | (再任) |
| 監事 | 田高 | 清造 | (再任) |

*任期：平成29年7月1日～平成30年6月30日

今年度の方針や課題

介護事業

今年はケアマネジャー5人で事業を進めます。昨年の試験に合格して新しくケアマネジャーの仕事に就く人に、今年から事前実習が義務づけられたので、ウェーブは実習生の受け入れ事業所にもなり、日頃の業務に加えて年に1～2回ですが別の業務も出てきます。忙しくなりますが、そういう機会を得ることで、これまでの事業所のあり方や各マネジャーの仕事のやり方を見直すきっかけにもなるので、前向きにとらえて頑張りたいと思います。

相談援助事業

世田谷区の委託事業とウェーブの自主事業としての活動をしてきましたが、いつまでも区の委託事業が続くとは限らないので、ウェーブとして来年4月以降の活動をどうしていくか、半年かけて検討していくこととなります。

地域福祉事業

これまで行ってきた活動を引き続き行います。参加者が伸びている活動もあればだんだん少なくなる活動もありますが、その時の情勢で仕方ない部分もあり、流れに任せて無理せず続けていきたいと思っています。

・ウェーブが所属している近隣の商店会の空き店舗活用計画に協力し、来年度に向けて商店会役員さん達と検討している事案があります。まだ具体的ではありませんが、その計画が実現すればウェーブの活動も少し変化するかもしれません。

・今年のママレード作りは、昨年以上に夏みかんの提供が多く、作業回数も10回を超えました。ボランティアさんも、世田谷ボランティア協会の会報で募集したおかげで、新しく参加して下さった方が11名にもなり、大変助かりました。

たくさんのママレードが出来上がりましたので、ぜひ皆様販売にもご協力をお願いします。



全国シェルター シンポジウム のご案内

「全国シェルターシンポジウム」とは、NPO 法人全国女性シェルターネットが毎年開催している全国規模のシンポジウムです。ウェブも賛同団体として参加しています。

第20回目となる2017年東京大会は「ノーモア暴力～DV・虐待・性被害・差別・貧困の根絶～」をテーマに開催されます。

第20回
性被害
虐待
差別
2017 in 東京
2017年9月30日(土) 10月1日(日)
文京シビックホール 大ホール
文京シビックセンター 区民会議室
文京区区民センター 会議室 文京区男女平等センター
NO MORE VIOLENCE
貧困
DV
ゲストスピーカー
オルガ・トゥルヒーヨさん (米国弁護士、コンサルタント)
オルガ・トゥルヒーヨさんは父親から母親への激しいドメスティック・バイオレンス (DV) がある家庭で育ちました。本人も3歳ごろから父親からの身体的・精神的・性的虐待を受けながら生き抜いてきた一人です。現在では弁護士としての専門知識と被害当事者としての知見を活かし、児童虐待・DV・性暴力等への総合的アプローチを提案するコンサルタントとして活躍しています。
著作『The Sun of My Parts: A Survivor's Story of Dissociative Identity Disorder』翻訳出版予定

●第20回 全国シェルターシンポジウム 2017 in 東京

9月30日(土)

会場：文京シビックホール 大ホール

内容：基調講演「乗り越える力：当事者からみた暴力の影響とトラウマ」

講師：オルガ・トゥルヒーヨさん (米国弁護士、コンサルタント)

*逐次通訳・手話通訳付き

シンポジウム「ノーモア暴力：私たちにできること」

10月1日(日)

会場：文京シビックホール 大ホール、文京シビックセンター 区民会議室

文京区区民センター 会議室、文京区男女平等センター

内容：議員フォーラム、分科会 A / 分科会 B

●詳細とお申込み：<http://no-more-violence.net/>

ビデオメッセージなども見る您可以通过。経済的に厳しい状況におかれている方にもご参加いただくための特別料金も新しくできました。ぜひサイトをご覧ください。そして、ご参加をお待ちします。

第8回 小泉公園ふれあいフェスタのお知らせ

今年もメインテーマは「防災」です。いろんな出店がありますので、お楽しみに！



●小泉公園ふれあいフェスタ

いつ：10月7日（土） 10：00～15：00

どこで：小泉公園（世田谷区駒沢2丁目42）

小泉公園ふれあいフェスタは年々参加団体が増え、ずいぶん充実してきました。




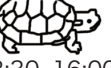







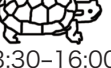


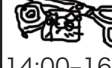

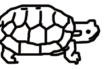







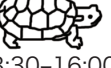




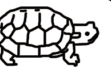



今年も「防災」をテーマにいろいろ工夫して、皆さんに楽しんでいただけるよう、実行委員会で案を検討しています。昨年は雨で途中で中止という苦い経験をしましたが、今年は天候への対策も十分にしていきたいと思います。

どうぞ皆さん予定に入れて、ぜひお手伝い、ご参加をよろしくお願ひします。

ウェーブカレンダー

ウェーブ分室
で開催

駒沢中学校「支えあ
いルーム」で開催

	日	月	火	水	木	金	土
第1週		 10:15-11:45 歌声サロン		 10:00-12:00 健康体操		 10:00-12:00 俳句を楽しむ	
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第2週		 10:15-11:45 どんぐり		 10:00-12:00 健康体操		 10:30-12:00 書道	 12:00-15:00 たんち山
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第3週				 14:00-16:00 健康体操			
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第4週		 10:15-11:45 どんぐり		 10:00-12:00 健康体操		 10:30-12:00 書道	 12:00-15:00 たんち山
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		
第5週				 10:00-12:00 健康体操			
		 13:30-16:00 みどりがめ	 14:00-16:00 健康麻雀	 14:00-16:00 編み物・書道	 14:00-16:00 手芸		

花絵の会

毎月第2・4月曜日の13:30
～15:30に駒沢中学校の「支
えあいルーム」で開催します。

- 8月 14日・28日
- 9月 11日・25日
- 10月 09日・23日



夕食会

毎週火・木曜日の
17:00～18:00に開催。
18:00以降に食べたい方は、
17:00までにお電話を！

介護保険、負担一部増に

この時期、淡い青紫色のアガパンサス（別名：ムラサキクンシラン）の花が涼やかに咲いているのをよく見かけます。爽やかな花姿は、梅雨のうっとうしさをひと時忘れさせてくれます。“アガパンサス”はギリシャ語で“愛の花”という意味だそうです。

さて先日、介護保険の見直しがあり、介護保険サービスの自己負担割合の改正が参院本会議で可決されました。介護保険負担割合は、2015年8月にそれまで原則、利用者が1割負担だったものが、収入が一定以上ある人は2割になり、さらに今回の改正では2割負担の人のうち、収入がより高い人は18年8月より3割に引き上げられるとのことです。単身世帯で年収340万円以上、夫婦世帯で年収463万円以上が対象となり、3割負担の対象者は約16万人。ただし、自己負担額には上限（月4万4000円）があり、支払い額が増えるのは約12万人（利用者全体の約3%）と見られています。

本人の支払い能力に応じて負担してもらうことを「応能負担」と言いますが、それが行き過ぎると、本当に必要なサービス利用も控えてしまうことになりかねません。実際、自己負担が1割から2割に引き上げられた人の約4割にあたる16万7000人が、サービス利用回数を減らしていたとのデータがあるそうです。今後も、負担増がサービスの利用頻度に与える影響について調査していくことが決められています。

また収入の高い会社員（40～64歳）に、より多くの介護保険料を求める「総報酬割」を導入することが、今年の8月から段階的に実施されます。これらは団塊の世代（昭和22年から24年生まれの世代）が2025年には後期高齢者（75歳以上）になり、医療や介護など社会保障費が大きく膨らみ、社会的にいろいろな問題が出てくる、いわゆる「2025年問題」が迫ってきているための対策です。国の財政が厳しいなか、収入のある人により多くの負担を求める傾向は今後も続くと考えられます。

私たち個人にできることは生活習慣を見直して、血管障害や認知症など介護につながる病気を予防することではないでしょうか。健康な生活は医療費や介護費用の節約にもなるし、国全体の社会保障費の軽減にもなります。そんなこと、わかっていますなんて言われそうですが。（ケアマネージャーN.A）

パリ空港を車椅子で移動し、 スペイン・バスク地方へ

この3月末、ピレネー山脈を挟んで大西洋側のスペイン・フランス国境にまたがるバスク地方へ10日間の旅をした。実は、この旅行の出発5日前に片方の膝裏に突然激痛が走り、歩けなくなった。旅行を取りやめるべきか、2～3日様子を見るべきか、こんな時に……と、思案にくれ、困ってしまった。



とりあえず医師の診察を受け鎮痛剤を服用。少し小康状態になった頃、旅行社の添乗員さんから電話があり事情を伝えると、「乗り継ぎするパリの空港では車椅子で移動できるよう手配しておきます」「いや、そんな大袈裟なこと結構です。何とか歩きますから」「とにかくパリの空港は広いから、ぜひ乗ってください」というやりとりで、少し気持ちが落ち着くと同時に、新たな不安を感じる。言葉もわからない外国で、しかも車椅子で。一体どういうことになるのか。しかし、もう元気を出して行くしかない！ 成田へGO！

今回の旅は、たまたま飛行機がビジネスクラスだったのが幸いした。12時間45分をほとんど横になって寝ていたら、パリのシャルル・ド・ゴール空港に着陸した。機内から出ると、なんと男性と車椅子が待っていてくれた。恐縮と感謝で胸がいっぱいになった。車椅子に移る時も支えてくれたり、リュックやバッグを持ってくれたり、とてもよく気がつき、親切。「メルシ・ボクー」と言うと、「ノー・プロブレム」と英語で返された。

車椅子は男性に押されて私のグループから離れ、広い空港内をどんどん進んでいく。出入国審査や手荷物検査で大勢の人が並んでいても優先され、どんどん進む。何回かエレベーターを使い昇ったり降りたり、途中4ヶ所でパスポートと搭乗券の提示を求められ、そのたびにスタッフが変わった。「英語、できますか？」「少し」「ここで待っててください。すぐ戻りますから」と言ったまま30分くらい現れなかった時は、すごく不安だったけれど。

車椅子での移動は緊張の連続だったが、乗り換え便の搭乗口までちゃんと送り届けてくださって、ほっとした。それにしても、これらのサポートは一切無料で、申し訳ないという感謝の念でいっぱいである。

おかげさまでパリを発って1時間25分で、スペインの“サンセバスチャン”という大西洋側の都市に着いた。スペインの異郷ともいわれるバスク地方を代表するこの街は、ミシュラン星付レストランの数が面積当り世界一という「食の都」でもある。

歴史的には、かのローマ帝国にも占領されなかったことなどで、独自の文化が伝承されている。例えば、言語。この自治州では、スペイン語ともフランス語とも全く違う（文法も）バスク語（文字はラテン・アルファベット使用）が公用語として使われていて、町中の看板・標識にはスペイン語、バスク語の併記がみられる。



一番上には英語、一番下にはバスク語で表示されているレストランの看板。

もう一つ興味深かったのは、現在のバスク人は約300万人といわれるが、血液型がほとんどO型で極端にB型が少なく、世界的にも稀なRh(-)の血液型が圧倒的だそう。どこからやって来た民族なのだろうか？

人々の印象は白人種。年配の男たちには伝統のベレー帽をかぶっている人が散見される。バスクの男たちは血の気が多く、力持ちといわれる。今でも独立自尊の精神が強く、たびたび体制側と内紛が起りニュースになる。サッカーも強いチームがあり、他国のチームのように世界中から高いお金で選手を集めていない、みんな自前の選手ばかりなのが自慢だとか。

バスク地方もナポレオンの侵入、またスペインのファシスト・フランコ将軍がスペイン全土統一のためナチス・ヒトラーの協力を得て壊滅状態にしてしまったという悲惨な歴史があり、その時の街“ゲルニカ”も訪問することができた。今は緑の美しい静かな小都市。この街の戦争の阿鼻叫喚連図が、あの有名なピカソの「ゲルニカ」である。また、このスペインの内乱をドキュメント・タッチに映画化したイングリッド・バーグマンのすばらしい映画「誰がために鐘は鳴る」も残されている。*画像はインターネットより (伊藤稔子)

身

体とのつきあい方

～身体の声聞きながら、いのちを全うする～

文＝小野 殖子

過日、古くからの知人からハガキを頂戴したが、内容を具体的に理解するのが困難なハガキだった。私自身の身体の調子が良くなかったせいか、差出人の不調のせいか・・・？ その方は、日頃は健康そのものみたいな方である。何とも返事の書きようがなかったものの、音信不通にするわけにはいかず、考えた末に「電話をしてみよう」と思い（相手の都合は考慮外）、電話番号を調べて電話をかけた。

知人宅は、大きな屋敷内に数人の姉妹が居を構えているらしく、妹さんが電話に出た。妹さんは「話していいかどうかわからないのですが、姉は頸動脈の梗塞の手術を受けるため、入院準備の品々を購入しに外出中です」とのこと。私は予想外のことにびっくりした。

妹さんと話しているうちに本人が帰宅し、我々が平均寿命より遥かに若かった時代にタイムスリップし、昔の話に花が咲いた。元気そのものだった彼女と病弱な私。それぞれのいのちとの付き合い方、予想外のことへの付き合い方、この世での「出会い」のあり方など、話題は尽きず話し込んだのだった。

私にとって彼女に出会えたことは素晴らしいことで、本当に感謝すべきことだと思う。今回、彼女からの予期せぬハガキによって電話をかける事態になり、思いがけずおしゃべりできたことは実に有難いことだ。ただ、健康そのものだった彼女でも、突然「頸動脈梗塞」などという大変な事態になったことで、健康を過信してはいけないと強く感じた。

皆様もご自身の身体をよく知り、身体の声聞きながら、無理せずそれぞれのいのちを全うしてほしいと思います。暑さが本格的になるこれからの時期、お元気でお過ごしください。

ウェーブ
川柳

秘密法安保法制共謀罪
捕まってはじめて怖い共謀罪
逆戻り時代に抵抗しなやかに

新井英明

道端の露草挿して朝の膳
水鉄砲びしょ濡れの子の笑顔かな
飛行雲真青な夏空一直線
蚊をはらい仏迎いし九品仏
乱舞してひと時失せし黒揚羽
砂利路もいとわず咲きし日照草

高橋ツヨ

横溝幸子

ウェーブ
俳句

ウェーブの会員になりませんか (会員登録のお願い)

- 正会員：年会費3,000円
ウェーブのサービスを利用したい方や、
ウェーブの活動をスタッフと一緒に支えてくださる方
- 賛助会員：年会費5,000円
時間や労働力の提供はできないけれど、資金面で支えてくださる方
- 寄付：金額自由（随時受付）
会員にはならないけれど、応援したいと思ったださる方

振込先はこちらです

郵便振込：00170-9-401564

[名義] コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

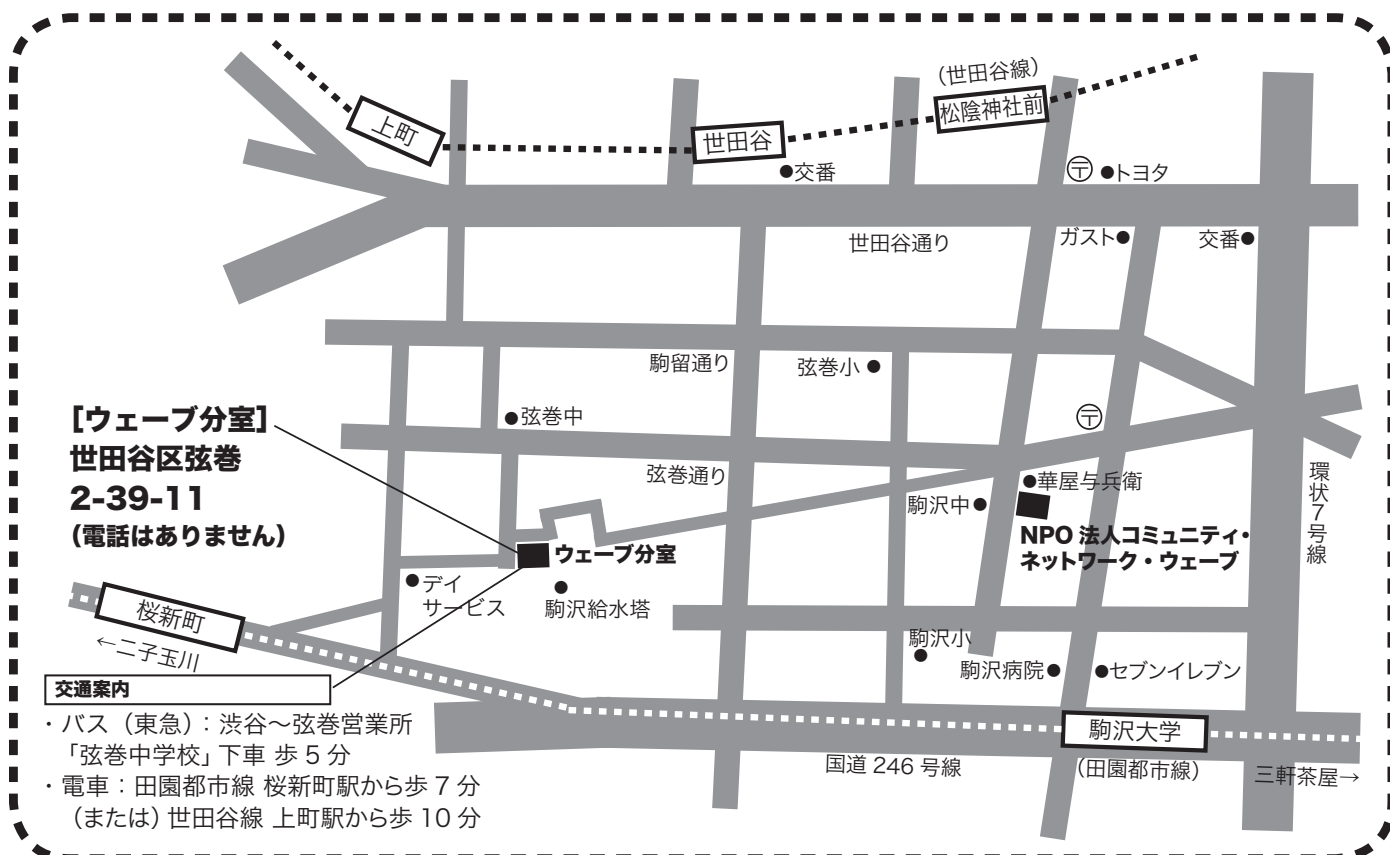
銀行振込：みずほ銀行 駒沢支店 (普)2025583

[名義] 特定非営利活動法人コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

ウェーブ通信「おおなみこなみ」は、コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ (CNW) の活動を多くの方に知っていただくために、年4回発行しています。ボランティアさんや地域の方、ウェーブを利用されている方などから記事をいただき、絵の好きな方から表紙やイラストを提供いただいています。ウェーブは「地域」を見つめながら活動しています。地域のいろいろな声の発表の場として、みなさんに利用していただきたいと思います。

NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブのご紹介

◎ NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ (CNW) は、障害のある人もない人も、高齢者も子どもも若者も、すべての人が家庭や地域の中で普通に日常生活を送り、支えあって暮らす社会 (ノーマライゼーション) の実現をめざして、1994年に設立されました。高齢者・障害者の支援をはじめ、差別や偏見による人権の問題、家庭内での暴力の問題、環境保護に関わるリサイクルなど、さまざまな問題に取り組み、その解決に向けて努力を重ねています。不安の多い世の中において、心のよりどころを求めている多くの人たちのオアシスになれることを願って活動しています。



だれでもサロン道草

tel:03-5430-7780
(火・水・木 13:00～18:00)
fax:03-5430-7780
(いつでも可)

介護事務所

tel:03-5430-7781
(9:00～19:00)
fax:03-5430-7771
(いつでも可)

交通案内

- バス (東急): 渋谷～弦巻営業所「駒沢中学校」下車すぐ
- 電車: 田園都市線 駒沢大学駅から歩7分 (または) 世田谷線 松陰神社前駅から歩9分

ウェーブ通信「おおなみこなみ」第81号

発行日: 2017年07月15日

発行所: NPO法人 コミュニティ・ネットワーク・ウェーブ

154-0012 世田谷区駒沢2-43-9 駒沢サンハイム106

メール wave@ngo-npo.org ホームページ <http://www.ngo-npo.org/wave/>

編集協力 & デザイン: 宮本幹江 (時遊編集舎)